

和歌山市学校教育目標

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域とともにある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 子供の学力を定着させてほしい。
- 明るく楽しい学校にしてほしい。
- 相手の気持ちがわかる子供に育ててほしい。
- 地域に誇りをもちたてほしい。
- 自主的にあいさつしてほしい。
- 学校施設をより快適に改善してほしい。

【学校教育目標】

心身ともに健康で、自主的に物事を考え自他の人格を尊重し、互いに協力して実践していく子どもを育てる

【めざす児童（生徒）像】

- ・いのちを大切に子ども
- ・自ら考え、自ら学び、実践する子ども
- ・なかよく助け合う子ども
- ・地域や学校に誇りをもつ子ども

前年度の学校評価

- 授業が工夫さし、一人一人の学びを支援して子どもたちの学力を定着させようと努力している。
- 学校の様子をHPの更新や学校便り等、情報発信が行われている。
- 地域との連携については子どもセンター事業等で行われていたが、コロナ禍でほとんど実施されなかった。

児童（生徒）の実態

- あいさつができるようになったことを始め、児童会が中心となり、子供たちは自主的に学校生活を送ろうとしている。
- 時間を守って行動できる（ノーチャイム導入後）。
- 最後まで粘り強く取り組む力が弱いのは、気づきの力が不足していることに起因している。
- 家庭学習の定着率が低く、スマホ等に費やす時間が多い。

重点目標

確かな学力の向上

- ・読み・書き・計算等の基礎学力の充実を図る。
- ◎自分の考えをもち、表現できる子を育てるために、授業のねらいに迫る話し合い活動を取り入れる。
- ・一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行う。
- ・家庭学習の充実を図る。

豊かな心の育成

- ◎自他共に尊重する心を育てる。
- ・自己を肯定し、相手の立場に立って考える態度を養う。心揺さぶる感動や地域の方々との関わりを大切にする。
- ・道徳教育・環境教育・国際教育・読書活動等の充実を図る。

健やかな体の育成

- ◎健康の保持増進と体力向上の推進。
- ◎基本的な生活習慣の確立。
- ◎予見義務・危機回避能力の育成。

地域とともにある学校

- ◎情報を積極的に発信する。
- ◎西脇小学校コミュニティスクールの充実を図る。
- ◎地域人材を活用し地域に開かれた学校づくりに努める。
- ◎学校運営協議会委員との連携を深め、よりよい学校運営に努める。

具体的な取組

- ・西脇タイムを徹底して利用し、計算の基礎基本の徹底、漢字の読み書きや文法的な学習をし、基礎学力の向上を図る。
- ◎「自分の考えをもち、表現できる子」を育てるために、話すこと・書くこと・聞くこと』の授業の充実を図る。
- ・特別支援教育支援補助員を活用し、個のニーズに応じた支援を行う。
- ・家庭と連携しながら自主学習の充実・習慣性を図る。

- ◎全教育課程で、規範意識を高める指導を行う。
- ◎地域との交流、磯の浦クリーン作戦の奉仕活動等、体験活動を通して、ふれあいの心、思いやりの心、ボランティア精神等の育成に努める。
- ・全児童に読書の機会と習慣を設け、読書活動を推進する。
- ・伝え合い・分かり合うためのコミュニケーション能力を高める。
- ・道徳授業の充実を図る。

- ◎地域学習や奉仕作業を通してボランティア精神の育成や健全な心や体力の向上を図る。
- 「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨する。
- ・食の重要性、喜び、楽しさを理解させる。
- 避難訓練や交通安全教室・防犯教室（非行防止薬物乱用防止・情報モラルを含む）計画的に行い、危機回避能力を育成する。

- ◎各種便り、HP等を通して積極的に学校の情報を発信するとともに、授業や行事等を公開する。
- 地域活動へ参加して交流を推進し、多種多様な生き方を学ぶ。
- 幼保こども園からの接続、中学校区での小中の連携を推進・充実する。
- 授業のゲストティーチャー、読み聞かせボランティア、クラブ講師等の人材や、地域の自然・文化を積極的に活用する。

指標

- ・全国学力・学習状況調査及び県学習到達度調査で基本問題の正答率が市・県平均を上回る。
- ・学習が楽しく分かり、子どもが主体的に授業を行うことができたと感じる(80%)。
- ・教師一人一研究授業の実施(100%)。

- ・学校が楽しいと感じる。(児童100%)
- ・「生きる力」「心のとびら」を活用する。(100%)
- ・いじめの解消に尽力する。(100%)

- ・朝ごはんを食べる。(児童100%)
- ・運動能力の向上を図ることで積極的に運動を行うようになり、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。(教師90%)

- ・学校の様子がよく伝わる。(保護者95%)
- ・中学校区(幼保こども園との連携を含む)で接続・連携した取組を具体的に実践できる。(教師90%)

◎：特に重点的に取り組むこと